



第54回岩手大学 COEフォーラム

岩手大学21世紀COEプログラム「熱-生命システム相関学拠点創成」では、関連分野において国内外で活発に研究をされている方をお招きしてフォーラム（セミナー）を開催しています。今回は、京都大学大学院理学研究科の西村いくこ先生をお招きし、小胞体や液胞を初めとする細胞内小器官の機能分化に関する最新の知見についてご講演をしていただきます。西村先生は、多くの教科書にも掲載されているような植物生理学上の重要な発見を多くなさっています。多くの方々にとって興味深いお話が聞けると思います。

お忙しいとは思いますが、多くの方々にご参加いただきますようお願い申し上げます。

第54回担当・農学部附属寒冷バイオシステム研究センター
上村 松生 (uemura@iwate-u.ac.jp)

日時：2007年10月11日（木）16:40～18:10

場所：岩手大学農学部2番教室

西村 いくこ 氏

京都大学大学院理学研究科生物科学専攻

高等植物の細胞内膜系の分化 — 観ることから新しい発見へ —

Endomembrane system in plants: seeing to finding

高等植物のもつ優れた環境適応力は、細胞小器官（オルガネラ）の分化転換能力によって支えられている。本セミナーでは、小胞体や液胞をはじめとする細胞内膜系の機能分化に焦点を当て、タンパク質の選別輸送系や液胞内プロセッシング系などについて、細胞分化や細胞死との関わりに触れながら最近の知見を紹介する。特に、細胞内を「観る」ことから、新しい生命現象の発見とその「分子レベルでの機能解明」への道を辿りたい。即ち、「観る」ことから新しいオルガネラや生理機能がどのようにして見出されてきたか、また逆に、液胞へのタンパク質の選別輸送に関わる分子を網羅的に取得する目的で開発された「観る」ことを利用した順遺伝学的手法等について述べたい。

キーワード：細胞内膜系, 液胞, タンパク質の選別輸送, GFP, プログラム細胞死, 液胞プロセッシング系, 小胞体, 膜輸送